

これまでの委員からのご質問への回答について

2021年7月15日
九州電力株式会社

1. 川内1、2号機 原子炉安全保護盤の更新時期について

【ご質問】

川内原子力発電所の原子炉保護系計器ラックと原子炉安全保護盤のデジタル化を同時期にしなかったのは何故か。

【回答】

川内1、2号機の原子炉保護系計器ラックは部品の製造中止による早期の対応が必要であり、先行して更新を行いました。その後、原子炉安全保護盤についても、適切な時期に更新を行いました。

なお、玄海3、4号機については、原子炉安全保護計装盤と原子炉安全保護ロジック盤の統合により、効率的に更新ができるため、同時期の更新・統合を予定していますが、川内1、2号機では、玄海3、4号機とは設備構成が異なり、統合は困難なため各設備毎に更新を行いました。

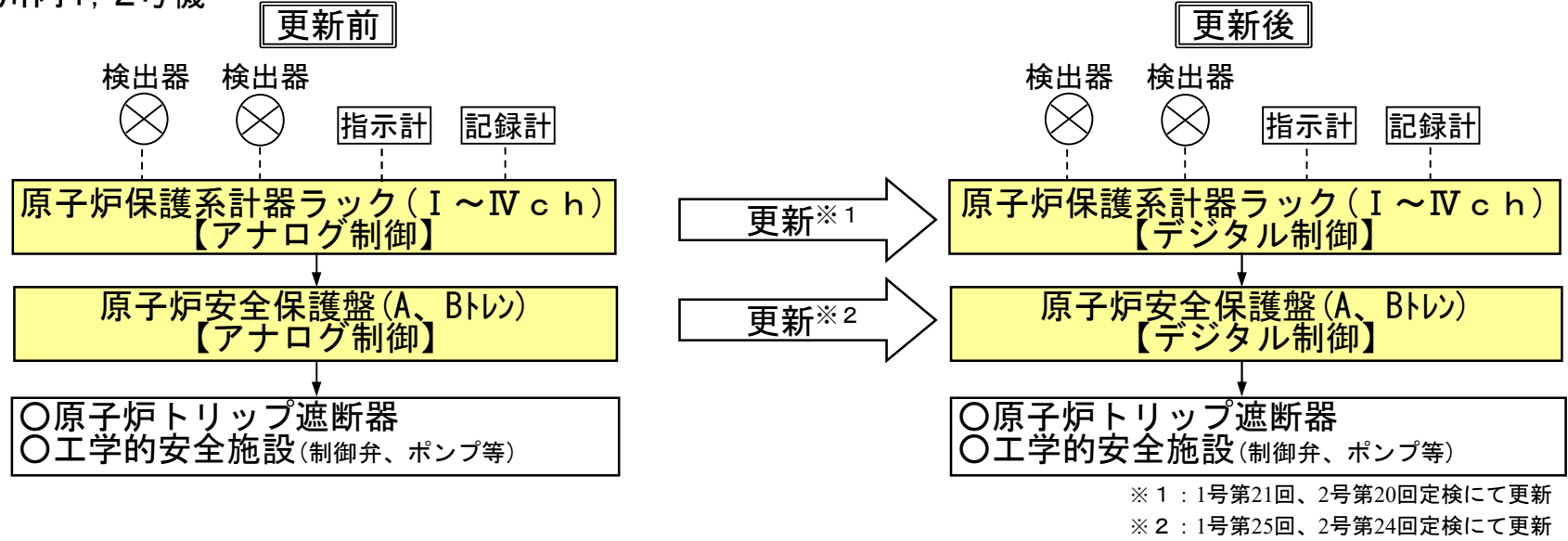
(更新時期)

原子炉保護系計器ラック : 1号機第21回定期検査、2号機第20回定期検査

原子炉安全保護盤 : 1号機第25回定期検査、2号機第24回定期検査

(参考) 川内1, 2号機及び玄海3, 4号機 更新概略図

川内1, 2号機



玄海3, 4号機

